

鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻  
における成績評価のガイドラインについて

教育学研究科における成績評価については、原則として、下記の図1「成績評価に関するガイドライン」（令和3年3月3日全学教務委員会決定）によるものとする。

なお、「成績評価に関するガイドライン」②の3に関して、教育学研究科学校教育実践高度化専攻における共通科目、実習科目、省察科目、選択科目については、②の1の限りではないものとする。教育学研究科学校教育実践高度化専攻における独自の成績評価に関するガイドラインは図2のとおりとする。

- ① 本学の成績評価における素点に基づく評価において、その評点と評価基準に関するガイドラインを以下のように定める。

|                 |                                  |
|-----------------|----------------------------------|
| 秀（90点以上）        | 基本的な目標を十分に達成したうえで、極めて優秀な成績を修めている |
| 優（90点未満から80点以上） | 基本的な目標を十分に達成している                 |
| 良（80点未満から70点以上） | 基本的な目標を達成している                    |
| 可（70点未満から60点以上） | 基本的な目標を最低限達成している                 |
| 不可（60点未満）       | 基本的な目標を達成しておらず、再履修が必要である         |

- ②
1. 秀が評価対象者の20%以内に収まることを目安とする。
  2. ただし、履修登録者が20人未満の科目においては、1の限りではない。
  3. 実験、実習科目、演習科目、卒業研究科目、研究科開設科目などについては、各々の特性を踏まえて部局ごとにガイドラインを定める。

図1 全学教務委員会で定めた成績評価に関するガイドライン

①本学の成績評価における素点に基づく評価において、その評点と評価基準に関するガイドラインを以下のように定める。

■鹿児島大学大学院教育学研究科学校教育実践高度化専攻履修要項（抜粋）

第5 成績評価は、秀（90点以上）、優（80～90点未満）、良（70～80点未満）、可（60～70点未満）及び不可（60点未満）の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし単位を認定する。

2 成績評価基準については、評語と合わせ、次のように扱う。

|     | 評価 | 評点          | 備考                   |
|-----|----|-------------|----------------------|
| 合 格 | 秀  | 90 ～ 100 点  | 特に優れた成績を示した者         |
|     | 優  | 80 ～ 90 点未満 | 優れた成績を示した者           |
|     | 良  | 70 ～ 80 点未満 | 合格が妥当と十分認められる者       |
|     | 可  | 60 ～ 70 点未満 | 合格が認められる最低限度の成績を示した者 |
| 不合格 | 不可 | 60 点未満      | 合格と認めるに足る成績を示さなかった者  |

本専攻では、次の基準を満たした者を採点・評価する。

秀：90～100点：特に優れた成績を示した者

学習目標に示された基準に十分に到達しており、さらに深化・発展的な学習を展開できている  
到達度が90%以上100%以下に対応する

優：80～90点未満：優れた成績を示した者

学習目標に示された基準に十分に到達している  
到達度が80%以上90%未満に対応する

良：70～80点未満：合格が妥当と十分認められる者

学習目標に示された基準に到達している  
到達度が70%以上80%未満に対応する

可：60～70点未満：合格が認められる最低基準の成績を示した者

学習目標に示された基準に対して不十分な点もあるが、おおむね基準に到達している  
到達度が60%以上70%未満に対応する

不可：60点未満：合格と認めるに足る成績を示さなかった者

学習目標に示された最低基準に到達しておらず、単位を与えるにはさらなる勉学が必要である  
到達度が60%未満、もしくは不合格に対応する

図2 教育学研究科学校教育実践高度化専攻で定めた成績評価に関するガイドライン